

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.56-57 最も近い隣国、韓国
2. 目標
 - (1) 韓国の文化や産業の特色と、首都圏への一極集中による課題を理解することができる。
 - (2) 韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

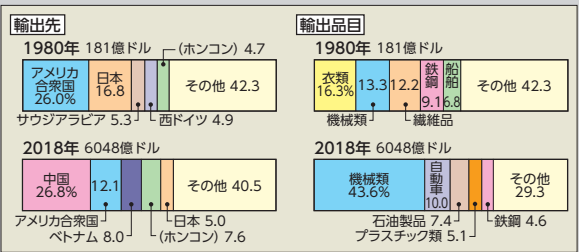
評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・さまざまな資料から、韓国の文化や産業の特色を理解している。
思考・判断・表現	・輸出先の変化やソウル周辺の人口推移を示したグラフを読み取り、韓国が抱える課題について多面的・多角的に考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「韓国料理の屋台がひしめく市場」と「韓国の書店に並ぶ日本の漫画」を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.56 1  p.56 2	○ 日本と韓国の共通点と相違点を探しながら、本時への導入を図る。 ○ 日本と韓国の関わりについて知っていることを自由に発言させ、社会や文化が似ている理由を予想させる。
	2. 韓国と日本には共通点がみられる理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	日本と韓国で似ているものを探してみよう。 日本と韓国では、社会や文化で似ている点があるのはなぜか、予想してみよう。	○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：最も近い隣国である韓国は、生活・文化や社会と産業の変化において、日本とどのような関わりがあるのだろうか。			
展開	3. 韓国の文化の特色を、日本と韓国の文化の共通点に着目しながら理解する。		○ 地図帳と学習プリントを活用し、부산と対馬、부산と福岡の距離を求めさせる。 ◆ 부산と福岡の距離は、福岡と広島との距離とほぼ同じであることに気付かせる。
	(1) 日本と韓国の距離 (2) 日本と韓国の共通点	地図帳を活用し、부산と対馬、부산と福岡の距離を調べてみよう。  p.56 3 日本と韓国で共通している生活習慣や文化を挙げ、共通点がある理由を考えてみよう。	○ 日本の文化と似ている点を挙げさせ、共通点がみられる理由を考えさせる。 ◆ 箸を使うことや、儒教の影響があることに気付かせ、両国は共通点が多いことを理解させる。

4. 朝鮮戦争後の韓国の工業化の流れと特色を理解する。

(1) 輸出先と輸出品目の変化



p.57 4

グラフから気付いたことを説明してみよう。

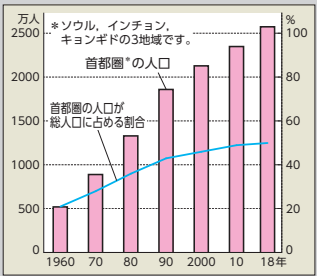
	主要な産業	製品例
～1980年代	軽工業	(例) 衣類、繊維品
1990年代～	重工業	(例) 自動車、船舶
現在	ICT関連産業	(例) 情報通信機器、ゲーム

韓国の工業がどのように変化をしてきたかまとめてみよう。



p.57 5

なぜICT関連産業が発展したのだろうか。



p.57 7

図から読み取れる韓国の課題は何だろうか。

5. ソウルへの一極集中が進む韓国の現状を理解し、問題点を考察する。

6. 本時のまとめをする。

政治や経済の一極集中がどのような問題を引き起こしているのか、説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ 韓国の輸出先と輸出品目の変化から、韓国の工業の変化を捉えさせる。

◆ 韓国の輸出先は中国の割合が高くなっていることと、輸出品目が機械類に変化し、金額が大幅に増加していることなどを読み取らせる。

○ 学習プリントを活用し、韓国の経済発展の歩みを整理させる。

◆ 1990年代のアジア諸国の経済の混乱の影響を受け、技術革新に速やかに対応した結果、情報通信技術の分野で発展していることを理解させる。

○ ソウル周辺の人口が増加し続け、総人口の約半分が首都圏に集中していることを読み取らせ、その問題点について考察させる。

◆ 経済発展に伴い農村から都市への人口移動が進んだため首都圏に人口が集中し、都市の住宅の価格が高くなったことや交通の混雑が起きていることを理解させる。

◆ ソウルに人口が集中することで、就業の機会や収入において格差が生じたり、交通渋滞などの都市問題が発生したりしていることを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。